

やってみよう！！ ジェンダーチェック



身延町では、平成31年3月に第2次みのぶヒューマンプランを策定し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを行っています。

その一環として、身延町男女共同参画推進委員会では、「互いの人格を尊重した家庭づくりの推進」を図るため、ジェンダーチェックシートを作成しました。

ジェンダーとは、人間が生まれつき持っている身体的な特徴で区別される“男”と“女”に対して、“男性はこうあるべき”、“女性はこうあるべき”というように、社会通念や慣習・文化によって作りだされた男性と女性の役割りや違いのことをいい、日常生活の中に広く浸透しています。

性別にとらわれず、自分らしさを活かし、お互いを尊重し合うために、あなたのジェンダーに対する考え方や行動をチェックしてみましょう！

以下の項目に「はい」か「いいえ」で答えてください。判定結果は裏面をご覧ください。
【男性は夫、女性は妻・嫁等、あなたの立場に言い換えて行ってください。】

1. 男性は外で働き、女性は家庭を守り、家事や育児・介護は女性がするべきだ。	はい・いいえ
2. 家事の手伝いを女の子にさせてしまう、又は男の子が家事の手伝いをしなくても気にならない。	はい・いいえ
3. 女性は仕事や外出で家を空けるとき、家事を済ませて出かけている。	はい・いいえ
4. 女の子にはかわいらしく、男の子には強くたくましく育てほしい。	はい・いいえ
5. 子どもが病気になったとき、仕事を休んで看病するのは女性だ。	はい・いいえ
6. 男性が育児休暇や介護休暇をとるには職場の環境や周囲の理解が不足している。	はい・いいえ
7. 夫婦げんかならば暴力を振るったり、振るわれても仕方がない。	はい・いいえ
8. 男だから、女だからという言い方をしたことがある。	はい・いいえ
9. 男女で賃金格差があるのは仕方がない。	はい・いいえ
10. 恋人同士の飲食代は男性が支払っている。飲み会などでは男性の方が負担が大きい。	はい・いいえ
11. 自治会等を仕切る役員は男性、お茶や食べ物を出す役割は女性が担っている。	はい・いいえ
12. 子どもの行事には女性が出かけている。	はい・いいえ
13. 性被害にあった女性は本人に落ち度があったと思われても仕方がない。	はい・いいえ
14. 法事など親戚の集まりでは女性が準備するのが当たり前である。	はい・いいえ
15. 女の子の進学や就職は地元が良い。	はい・いいえ
16. 女性の幸せは、結婚し子どもを産むことだ。男性は結婚してこそ一人前だ。	はい・いいえ
17. 女性が病気になった時、男性が看病したり、代わりに家事を行うことはない。	はい・いいえ

身延町男女共同参画推進委員会

事務局：身延町役場 企画政策課 企画政策担当

判定結果

「はい」の数はいくつありましたか？

「はい」の
数が0～5個



性別にとらわれず、相手の考えを尊重したり、多様な考え方が出来ているようです。考え方だけでなく行動の面でも家族と協力し合っているのではないのでしょうか。職場や地域であなたの考えや行動をアピールしてください。社会の考え方が変わっていくきっかけになるはずです！！

「はい」の
数が6～10個



男女の役割分担について疑問に思う一方で、しきたりや習慣だから仕方ないと諦めてはいませんか？あなたの疑問は新たな行動への第一歩です。まずは疑問に思っていること、おかしいと思っていることを家庭内で話し合ってみましょう。お互いの考えを共有して理解し、役割分担を見直すなど、協力し合うことが大切です。

「はい」の
数が11～17個



「男性はこうあるべき」、「女性はこうあるべき」というイメージにとらわれて、知らず知らずのうちに役割を決めつけていませんか。まずは「男だから、女だから」という言い方をやめて、男女の役割にこだわる理由を考えてみましょう。しきたりや慣習だからという理由ならば、多種多様な考え方や生き方ができる時代になったのです、異なった考えに対する理解に努めていきましょう。

結果はいかがだったでしょうか？「はい」の数が少なくなることが理想です。家庭においても、お互いの人格を尊重し、家族全員が協力し合って家庭生活を送ることが大切です。

男女共同参画社会という、男性も女性も、社会を構成するすべての人が幸せに暮らせる社会の実現に向けては、ジェンダーにとらわれることなく、一人ひとりが意識を変えていく必要があります。多種多様な考え方、生き方、個性をお互いに認めあい、尊重し合うことが必要なのです。

このジェンダーチェックを通じて皆さんがジェンダーについて考えたり、男女共同参画社会への理解を深め、意識を変えるきっかけにしてください。

